

# 第24回 日本臨床毛髪学会学術集会

大阪の真ん中で  
毛髪を語り尽くす

会長

乾 重樹

大阪大学大学院医学系研究科  
皮膚・毛髪再生医学寄附講座特任教授 /  
心齋橋いぬい皮フ科院長

The 24th  
Annual Meeting of  
Japan Society of  
Clinical Hair Restoration

会期

2019  
11/23 sat・祝 24 sun

会場

ヴィアーレ大阪 〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町3-1-3

事務局

医療法人桃恵会 心齋橋いぬい皮フ科  
〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場3丁目5-11 心齋橋フロントビル4階

TEL 06-6484-5755 Fax.06-6484-5733

e-mail 24jschr@gmail.com

<http://www.r-derma.med.osaka-u.ac.jp/jschr2019/>



## 博龍堂フォアヌーンセミナー

FS

11月24日(日) 11:00~11:45

### 自然免疫からの育毛法、LPS の挑戦

稲川 裕之

自然免疫制御技術研究組合 研究本部長、新潟薬科大学 特別招聘教授



人の外部環境との接点である皮膚、腸管、口腔などの粘膜においてグラム陰性菌由来の LPS (lipopolysaccharide) はトル様受容体 (TLR) 4 を介して生体恒常性に寄与している。皮膚ではランゲルハンス細胞や樹状細胞等の免疫細胞の他にも、繊維芽細胞やケラチノサイト、毛包にも TLR4 が発現し LPS を環境情報分子として利用している。我々は、植物共生細菌で土壌に多いパントエア菌由来の LPS (LPSp) がマクロファージの活性化や繊維芽細胞の増殖促進、難治性創傷の治癒促進、マウスの育毛モデルで育毛促進効果を示すことを見出した。ヒト毛乳頭細胞に LPSp を添加して培養したところ、育毛サイクルの成長段階に作用する FGF-7 と VEGF の遺伝子発現増加効果が観察された。なお、予備研究として薄毛のボランティア男女 24 名に同意を頂き、LPSp を主剤として配合した溶液 (トリカ H、博龍堂) 1ml を一日二回 (朝晩)、頭部にマッサージしながら 1 ヶ月間塗布頂いたところ、良好な結果が得られ、人でも LPSp が育毛に有効であることが示唆された。

#### 略 歴

埼玉大学工学部卒業。薬学博士。新技術開発事業団研究員、帝京大学助手、水産大学校准教授などを経て、2010 年より自然免疫制御技術研究組合研究本部長、2016 年より新潟薬科大学特別招聘教授 (2019 年より客員教授)。比較免疫学的研究視点から食細胞の生物活性に基づいた多細胞動物の健康維持の仕組みとその応用として難治性疾患予防・治療への利用について研究している。また、食品の機能性成分としてのグラム陰性菌の LPS の有用性を約 30 年前に見出し、以来 LPS の有用性に着目した研究も展開している。